

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2019年5月27日

～事故のない快適なモビリティ社会の実現に向けて～
スマートフォン「ながら運転」防止アプリの開発について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、今般、企業の安全運転取組を支援するため、スマートフォン「ながら運転」防止アプリを開発し、2019年夏頃より、フリート契約者向けにサービスの提供を開始します。

本サービスは、Beacon[※]技術を搭載した専用の車載器端末とスマートフォンアプリの活用により、運転中の着信およびスマートフォンのアプリ操作を制限し、「ながら運転」を防止します。また、管理者は、専用WEBサイトを通じて、従業員ごとのアプリ起動状態や急加速・急減速等の運転状況を確認することができるため、企業の安全運転取組にも活用いただけます。

スマートフォンの「ながら運転」に起因する事故は社会的にも関心が高く、企業がこれらの事故防止に取り組むことは、新たな企業価値の創造につながります。

三井住友海上は、今後も商品・サービスの提供を通じて、事故のない快適なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

（※）Beacon（ビーコン）について

Bluetooth機能をオンにしているスマートフォンの位置を特定する発信機のこと、信号を数秒に1回、半径数メートル範囲に発信します。その技術を応用し、ビーコンから発信される電波の受信有無によって、自動でアプリを起動・終了することができます。

1. サービス開発の背景

運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故は、過去5年間で約1.5倍に増加しており、特に運転中のスマートフォン利用による事故が社会問題となっています。また、2018年12月に警察庁が、自動運転技術の実用化に対応するとともに、携帯電話使用等に関する罰則強化等を目的とした「道路交通法改正試案」に関するパブリックコメントを募集するなど、社会的な関心も高まっています。

こうした中、運転中のスマートフォンの利用を防止することで、事故の削減につなげるほか、企業価値向上に取り組む企業ニーズの増加にも応えるべく、本サービスの開発に着手しました。

2. サービスの概要

（1）サービスの仕組み

車内に設置する専用車載器端末からBluetooth信号を発信することにより、アプリが自動で起動し、運転する車が一定速度を超過した場合に、自動でスマートフォンの利用を防止します。

<サービスの利用イメージ>



(2) 利用制限の内容

本サービスにより、自動車走行中のスマートフォンによる「通話」および「アプリ操作」の利用を以下の通り、防止します。

	制限の内容
通話	アプリが起動され、加速度センサーが反応すると、着信が不能となります。 (強制的にドライブモードとなり、着信履歴は残ります。)
アプリ操作	アプリが起動され、加速度センサーが反応すると、アプリ操作の際にホーム画面に強制遷移されるプログラムが立ち上がり、アプリ操作が不能となります。

(3) お客さまへの提供方法

当社は、株式会社フジミック新潟社と連携して本サービスを開発し、ご利用を希望されるお客さまへ無償でアプリを提供します。

なお、本アプリと連動する専用車載器は、別途購入が必要となります。

専用車載器 (2019年夏頃、提供開始予定)



- Bluetooth を発信する専用車載器 (開発中) により、専用アプリ (開発中) が起動します。
- アプリは無償、専用車載器は有償 (価格未定)。月額利用料は無料。

以上